科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録／基礎演習A (Academic Skills A)		
担当者名 (Instructor)	新野　守広(NIINO MORIHIRO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ICC1510	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	学びの技法		

授業の目標(Course Objectives)

大学で学ぶための基礎となる論理的思考、情報リテラシーを身につけ、コミュニケーション力、情報受信・発信能力、問題解決能力を向上させる。

Students will master the logical thinking and information literacy that form the foundation of university-level study, and improve their abilities to communicate, receive and originate information, and solve problems.

授業の内容(Course Contents)

「協同学習」の方法論を用い、論理的思考スキル、言語スキル、対人関係スキルを学ぶとともに、タイム・マネジメントを習得する。また、議論や発表のスキルとともに、ノン・バーバルコミュニケーションへの意識も高める。「協同学習」は課題テクストを、授業内で解説する予習の仕方に従って各自が予習して授業に臨む。授業は少人数でのグループディスカッションと発表で構成する。また、レポートの書き方について、解説とトレーニングを行う。

The cooperative learning method will be used to help students acquire logical thinking skills, language skills and interpersonal skills as well as time management skills. Students will also improve their discussion and presentation skills, and will further their understanding of nonverbal communication. Instructors will explain in class how students should prepare for cooperative learning exercises, and students will follow those instructions and read assignment texts in advance of classes.
Class activities will consist of small groups of students participating in discussions and presentations. Instructors will also explain and lead exercises on how to write reports.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. 図書館オリエンテーション／協同学習①-1(初見のテクスト)
3. 協同学習①-1(初見のテクスト)／図書館オリエンテーション
4. 協同学習①-2
5. 協同学習②-1
6. 協同学習②-2
   レポートの書き方①:論理的な文章を書く
7. 協同学習③-1
8. 協同学習③-2
   レポートの書き方②:適切に引用する
9. グループ発表①-1(グループでテーマを決め、発表準備)
10. グループ発表①-2(クラス内リハーサル)
11. グループ発表①-3
    3 グループ発表
12. グループ発表①-4
    2 グループ発表
13. レポートの書き方③:適切な問いを立て、論理的に構成する
14. ピア・レビュー

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

毎回の授業で指示する。
また、初回ガイダンス時に、詳細な授業進行表を配布するので、常時参照すること。
自宅学習ノートを用意し、十分活用すること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業への参加度(20%)/協同学習フィードバック(20%)/自宅学習ノート(25%)/レポート(20%)/最終グループ発表(15%)

テキスト(Textbooks)

1. 大島弥生ほか、2014、『ピアで学ぶ大学生の日本語表現[第 2 版]』、ひつじ書房 (ISBN:9784894767096)

Master of Writing(以下から各自でダウンロードする)
http://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/philosophy/activism/CDSHE/journal/leaflet/

参考文献(Readings)

1. 佐渡島紗織・吉野亜矢子、2008、『これから研究を書くひとのためのガイドブック』、ひつじ書房
2. 松本茂・河野哲也、2015、『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』(第2版)、玉川大学出版部

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)